

渡辺豪 lightedge — 境面Ⅱ —

2011年1月22日(土) - 2月26日(土)

アラタニウラノ
ARATANIURANO

〒104-0041
東京都中央区新富2-2-5
新富二丁目ビル3A
3A 2-2-5 Shintomi Chuo-ku
Tokyo 104-0041 Japan
Tel +81-(0)3-3555-0696
Fax +81-(0)3-3555-0697
info@arataniurano.com
www.arataniurano.com

新春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
ARATANIURANOでは、1月22日から2月26日まで、渡辺豪「lightedge — 境面Ⅱ —」展を開催致します。本展は、2007年に開催した「境面」から4年ぶり2回目の個展となります。

渡辺豪(1975年兵庫生まれ)は、近年コンピューター上で作成した3D形体の顔に実存の人物を撮影した皮膚の画像をはりつけ、半透過フィルムにデジタルプリントしたポートレートシリーズのライトボックス作品を発表し、ヒトとモノそのどちらにも属さない領域を感じさせる「境面」を表現し、見る者に強い存在感と印象を与えました。また、今年行われた愛知トリエンナーレのプレイベントとして、愛知県美術館での個展を行い、新作アニメーションを発表して新たな境地を開きました(「現代美術の発見VI 渡辺豪 白い話 黒い話」、愛知県美術館)。



1

近年では韓国でのメディアシティ・ソウル(2006年 ソウル美術館)、「美麗新世界: 当代日本視覚文化」(2007年 北京ノ広東美術館 広州)、また台湾での「Have You Eaten Yet? — 2007 Asian Art Biennial」(2007年 国立台湾美術館、台中)等に参加、アジアで活躍すると共に、昨年はリトアニアでの「ビッグ・イン・ジャパン」展にてポートレートシリーズの新作を発表し話題を集める等、国内外で目覚ましい活躍を見せている若手作家です。

待望の第2回目である今回の個展では、室内空間や室内にある身近な物質がモチーフとなり、その表面が織りなす景色が展開される新作アニメーションを中心に発表致します。

コンピューターグラフィックスで作成した3D形体の骨組に、物の表面の画像を貼りつける、あるいは、室内の空間を構成している一部を切り取り解体、表面という単位で変化していく様を、幽暗な色調と静寂さを帯びた緩やかな進度のアニメーションやデジタルプリントの作品で表現しています。

その作品世界は、表面がそれを支える“物質”から離れて自律的に表れることで、物をその物として認識することのできない、意味や配置の定まらない、あるひとつの領域、固有な景色を作り出し、また、ギャラ

1.
「lightedge」
2009年
Full HD アニメーション
21min 36sec

渡辺豪 lightedge — 境面Ⅱ —

リーの展示空間に多視点的に複数の作品を設置することで、異なる時間や距離が混じり合う景色の展開を試みています。それは、前回の個展「境面」で見せた代表作のポートレートシリーズから離れながらも、作家の意識する共通の境界というテーマへの新しいアプローチであり、私たちの身近にある空間や物に対する認識、意識を変化させるような体験となることでしょう。

つきましては、本展の広報にご協力賜りたく、ここにご案内申し上げます。

アラタニウラノ
ARATANIURANO

〒104-0041
東京都中央区新富2-2-5
新富二丁目ビル3A
3A 2-2-5 Shintomi Chuo-ku
Tokyo 104-0041 Japan
Tel +81-(0)3-3555-0696
Fax +81-(0)3-3555-0697
info@arataniurano.com
www.arataniurano.com



2.
「The Tower of Books」
2010年
Full HD アニメーション
loop (29min 06sec)

3.
「liquid face (glasses) - 2」
2010年
デジタルプリント
h.82.5 × w.110 cm